

第2次 横手市農業振興計画

平成28年度～平成37年度

～魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、
仕事を生み出す産業の振興を図ります～



平成28年11月

横手市

第2次横手市農業振興計画の策定にあたって



横手市は、基幹産業である農業を経済活動の基本と捉え、平成19年に策定した横手市農業振興計画に掲げる「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」を目指して、「食と農からのまちづくり」による官民一体となった取り組みや複合経営の推進など、これまで様々な施策を進めてまいりました。

しかしながら、度重なる果樹への豪雪被害を始めとする気象災害、高齢化による担い手の減少、さらには生産者米価の下落などにより、本市の農業は必ずしも発展しているとは言い難い状況にあります。

外に目を向けましても、平成30年産からの米政策の大幅な見直しやTPPによる国際情勢の変動など、農業をめぐる情勢は大きな転換期を迎え先の見通せない状況となっており、国だけでなく我々地方自治体にも難しいかじ取りが求められています。

そのような中、市では平成26年度から農林関係部署を独立させ、「農林部」として体制強化を図ったほか、平成28年3月に策定した「第2次横手市総合計画」では「次代を見据えた力強い農林業の振興」を重点施策の1番目とし、同じく「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても「農業経営の強化と新規就農者の確保・育成」を取り組み目標の一つとして農業振興を進めております。

このたび策定しました「第2次横手市農業振興計画」は、今後の予測が難しい状況の中でもしっかりと地域に根差した農業振興と足腰の強い農業経営の実現に向け、将来的に持続可能な横手市農業を目指して、先の計画を大きく見直したものです。

策定にあたっては、生産者や市内農業団体及び女性農業者などで組織した策定委員会において、平成27年11月から5回に渡り審議をしていただきました。そして、「人を育て、農林業で生き残れる道を開こう」を基本テーマに、人・農地・生産・食農・農村の5つを柱にそれらを総合的に推進し、市民が意欲を持って生き活きと農業に取り組むことで、農業が市の基幹産業として地域の活性化の一翼となれるよう、今後の指針となる農業振興の総合計画としてまとめましたところ です。

また、市民の皆様や市議会など各方面からもご意見をいただき、現状を見据え実効性のある計画を策定することができ、ご協力賜りました皆様及び関係各位に対しまして、厚く御礼申し上げます。

10年後、皆様が前を向いてしっかりと農業に取り組めるよう、本計画を進めてまいる所存ですので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

横手市長 高橋 大

第2次 横手市農業振興計画

目 次

第1章 第2次横手市農業振興計画の策定

1 策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間	2

第2章 横手市農業を取り巻く環境

第1節 横手市農業の概要	3
1) 横手市の位置・地勢	3
2) 農業特性	4
第2節 横手市農林水産業の現状と課題	5
1) 農林水産業	5
2) 食と農からのまちづくり	7
3) TPP対策について	8

第3章 横手市農業の目指す方向

1 基本目標	9
2 目標の実現に向けた5つの柱	10
3 施策体系	11

第4章 分野別の振興方針

第1節 経営能力に優れた多様な経営体の育成	13
1) 新たな人材の発掘と育成	14
2) 認定農業者と集落営農組織等の育成	19
第2節 生産力強化に向けた基盤の整備	24
1) 農地利用の集積と優良農地の確保	25
2) 農業生産基盤整備の推進	28

第3節 地域の特性を生かした農業の推進	30
1) 作目別の生産振興	31
①稲作の振興	31
②土地利用型作物の安定生産	33
③園芸作物（野菜・花き）の振興	35
④果樹の振興	36
⑤畜産の振興・耕畜連携の推進	38
⑥特用林産物の振興	40
2) 雪に強い通年型農業の確立	41
3) 地産地消の普及と食育の推進	43
4) 環境にやさしい農業の推進	45
第4節 農産物のブランド化と産地づくりの推進	47
1) 農産物のブランド化の推進	48
2) 6次産業化の取り組み支援	49
3) 売れる農産物生産による産地づくりの推進	50
第5節 農林業・農村の多面的機能の発揮	52
1) 農村環境の改善と保全	53
2) 農村の活性化	56
3) 木材の利活用と機能豊かな森づくり	60
第5章 農業振興計画の実現に向けて	
1 推進体制の確立	67

資料

資料1 横手市農業振興計画策定委員会委員名簿	69
資料2 横手市農業振興計画策定委員会設置要領	70
資料3 横手市農業振興計画策定委員会開催経過	71
資料4 用語解説	72